

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月25日		記入者		内線	5152
部 名	学校教育部	課 名	青少年相談センター	課長名	鹿俣 克美	
事務事業名	ヤングテレホン事業					
予算上の事務事業名	同上					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14125		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市立青少年相談センター条例・相模原市青少年相談センター相談員に関する要綱 相模原市立青少年相談センター条例施行規則					
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分			窓口・相談	▼		
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
青少年の抱える悩み、不安等の電話相談					(2) 対象(誰、何)	
					19才以下の青少年・保護者	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
電話による相談業務を実施 青少年相談センター相談員 4名 相談延べ件数 924件						
6 関連・類似事業や他市の状況	他自治体も同様な目的で実施している。					
7 事業費の推移						[単位:千円]
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	7,942	7,465	7,786	7,684	7,684	
一般財源	7,942	7,465	7,786	7,684	7,684	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	2,517	2,403	2,421	2,421	2,421	
事業コスト合計(a)	10,459	9,868	10,207	10,105	10,105	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	ヤングテレホン事業			対象名称 (単位)	相談件数(件)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	10,459	9,888	10,207	10,105	10,105	
対象数	674	855	924	1,000	1,200	
単位あたり経費(円)	15,518	11,565	11,047	10,105	8,421	
前年度比		0.75	0.96	0.91	0.83	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	電話相談件数		指標式と指標の説明	電話による年間相談件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	674.0	855.0	924.0		
目標	0.0	0.0	0.0	1,000.0	1,200.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	電話相談件数		指標式と指標の説明	相談件数 / 相談員数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	674.0	855.0	924.0		
目標	0.0	0.0	0.0	1000.0	1200.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		ヤングテレホン相談は、電話を介して青少年の不安に対し状況の改善・解決に向けて適切な助言を実施し、効果がある事業である。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 交代制勤務の見直し 待ちの体制の検討			14 課題として認識されたこと 利用者の伸び悩みがありPRが必要		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		積極的なPRに努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			